

「平成27年度 栄進プレ・カレッジ講座」を行いました

「平成27年度栄進プレカレッジ」が、「知の世界にふれる ―現代を生きる羅針盤を求めて―」のテーマのもと、8月3日（月）～7日（金）の間、茨城大学・筑波大学・東京海洋大学・茨城県立医療大学先生をお招きして実施しました。

参加した生徒は104名で、そのうち全講座を受講しレポートを提出した生徒には、「学校外学修」として1単位が認められます。生徒は興味のある分野の話にさらなる知識欲をかき立てられたり、知らなかった分野の話聞いて新たな発見をしたりと、意義のある1週間を過ごしました。

開講した講座および受講生徒の感想（抜粋）

8月3日（月）

講座名「近世絵図の世界」 9:00～10:30

茨城大学 社会科教育学科 教授 小野寺 淳 先生



江戸時代には今のようなコンピュータや技術がないにもかかわらず、今の地図とほとんど変わらない地図ができていたり、地球儀ができていたことに驚きました。宇宙から見た図を計算で求められるなんて感動でした。

これからは、町の新しいところが発見できそうなので歩いてみたいと思いました。また、江戸時代の人々の計算力と体力にはびっくりです。今はテーマパークになっているところが昔は大砲があったり塩田だったりとおもしろい情報を知ることができました。

講座名「ザ 保健室―学校のパワースポット―」 11:00～12:30

茨城大学 教育保健 教授 斉藤ふくみ 先生



学校のパワースポットが保健室だと聞いて、確かに保健室に行って養護の先生と話すだけで気が楽になり、安心できるなと思いました。

私が知っている、養護の先生の仕事以外にもたくさんの仕事があって、生徒の健康のために役に立っていることがわかりました。また、ロールプレイでは予測できない生徒の入室・相談にたいして、よりよい方法で対応することはとても難しいことだと思いました。

8月4日（火）

講座名「光の使い方」 9:00～10:30

茨城大学 知能システム工学科 准教授 小貫 哲平 先生



中学の時に「光」について勉強したけれど、今回の話はまったく違ってまるで数学みたいでした。たくさん公式が出てきてびっくりしたし、「光」についてもたくさんの公式があるんだと思いました。見たこともない映像や、聞いたこともない話を聞いてとても楽しかったです。

難しすぎて意味はよくわからなかったけれど、光の世界に興味を持てたし、「光」で距離や温度を測ったり、医療にも活用されたり、「光」ってただ明るいだけではないんだとわかりました。

講座名「君に情景は見えるか？—標題音楽について—」 11:00～12:30

筑城大学 音楽教育 准教授 山口 哲人 先生



クイズ形式で音楽を聴くのが新鮮で楽しかったです。曲を聴いていろいろなことを想像して、曲の題名を考える。すると、一人一人想像することが違って、その違いがとてもおもしろいと思いました。

私も山口先生と同じように小中学校での音楽の授業はつまらないと思っていました。でも、今回のような授業があると、楽しいし想像力もつくのでいいなと思いました。

8月5日（水）

講座名「カナ（仮名）しばりの日本語：イヌの逆さはウニ」 9:00～10:30

筑波大学 人文学類 大倉 浩 先生



いつも当たり前のように日本語を使っていますが、先生の母音や子音、日本人の耳・口や発音のことを聞いてとても興味がわきました。音声の逆再生をやってみるのは初めてで、当然のように言葉が反対になるものだと思っていましたが、まったく予想とは違って、びっくりしました。今日はじめて日本人が鼻音で音を聞き分けていることを知りました。いろは歌についても深くは知らなかったので言語の歴史にふれてよかったです。

講座名「筑波大学発—面白・不思議科学実験工作隊」 11:00～12:30

筑波大学 応用理工学類 小林正美 先生



90分間でいろいろな実験ができて楽しかったです。目をこらして見ていると、水飲み鳥や計算機がたくさんテレビに出ていて驚きました。これからは他の番組に出てこないか気にしてみようと思いました。実験や組み立て作業が難しいところもありましたが、達成感があって楽しかったです。魔方陣の作り方もわかりました。共振で橋が倒壊したり、水飲み鳥や回すと音が出るチューブの原理を知ることができました。理系への進学を考えようと思いました。

8月6日（木）

講座名「10万トンを動かす・制御する—これが最先端の船の仕組みだ—」 9:00～10:30

東京海洋大学海洋工学部海洋電子機械工学科 准教授 木船 弘康 先生



海洋大といったら「魚」だろと思っていましたが「船」もあることを意識しました。

空輸は300トン。船は9億6000万トンと、これほど違うことに驚きました。

しかし、船のエネルギー使用量は大きく、環境汚染物質を出してしまうことがわかって、早く対策を立てないといけないと思いました。やはり、太陽エネルギーが有効なのではないかと思いました。

講座名「食物アレルギーあれこれ」 11:00~12:30

東京海洋大学 海洋科学部 食品生産科学科 教授 黒瀬 光一 先生



「どんな食品にでもリスクがある」ということに驚きました。塩やグルタミン酸でも摂取量によっては死に至るということで、今まで何も考えずに食品を食べていたので、情報を鵜呑みにせず正しい情報をきちんと得て、それに対応することが大切だと改めて感じました。アレルギーの表示にもさまざまなルールがあり、お弁当の個別表示の例は納得しました。食物アレルギーは増加の傾向にあるようですが、私の周りにも食物アレルギーの人がいます。身近なものであることを実感しました。

8月7日(金)

講座名「パラスポーツ(障がい者スポーツ)をご存知ですか？」 9:00~10:30

茨城県立医療大学 理学療法学科 准教授 橘 香織 先生



スポーツでリハビリをすることは、身体的な面だけでなく心の面でも大変役に立つことがわかりました。

パラスポーツはまだよく知られていないと思います。私が中学時代にやっていたバスケットボールですが、車いすでも同じルールで行っていることをはじめて知りました。もっと身近なところでパラスポーツが行われていれば、パラスポーツについてもっと理解が深まると思います。これからは、オリンピックだけでなくパラリンピックにも関心を持って見て行きたいと思いました。

講座名「感染症から身を守ろう」 11:00~12:30

茨城県立医療大学 医科学センター 准教授 桜井 直美 先生



私たちが生活している身近なところに、たくさんの菌があることを知って驚きました。この講義を受けて手指衛生の保持がとても大切だと実感しました。正しい手洗いの仕方やアルコール消毒液の使い方を知らないと、逆に細菌が増えてしまうと聞いて、正しい知識の必要性を感じました。

抵抗力を弱めないように、食事のバランスや寝不足に気をつけて生活し、自分が感染症にかからないように、そして広めないように気をつけたいと思いました。